

は じ め に

海に面した景勝の地―百道浜―に保健環境研究所が平成9年5月19日に誕生しました。組織上も環境科学課が新設され、従来の微生物課、理化学課とともに1部3課、職員43名、嘱託職員10名という体制です。

ここに至るまでに注がれた先輩諸氏のご努力と関係各位のご尽力に深く敬意を表する次第です。

新しい研究所は、検査研究機能が充実されたことももちろんですが、保健所や本庁とオンラインで結ぶ情報システムの導入による情報発信基地としての機能も持っていますし、国内、国外からの研修生を受け入れることもできるようになりました。しかもっと大きな特徴は、市民が実際に体験しながら保健や環境問題について学ぶことができる市民学習室「まもる一む福岡」が併設されていることでしょう。そしてこの「まもる一む福岡」に来られた方々の多くは実験室や検査機器類と我々の執務状況を見学されますので、まさに開かれた研究所になったといってもいいと思います。ここで、市民が必要としている情報や資料を提供し、我々も市民の望んでいることを聞き取って、その要求に答える努力をしなければならないと思います。

名称も試験所から研究所に変わりましたので、今後の業務に対して取り組む姿勢も自ずから変化していくものと思います。

我々が取り組むべき検査研究対象も、従来から実施していた食品衛生や環境衛生などに関する試験検査に加えて、昨年から突然出現したO157や今後取り組むべきダイオキシン、クリプトスポリジウム、大気有害汚染物質など新しい課題も山積しています。また、検査精度を確保するためにその管理が法令で定められるなど、時代の流れとともに検査研究を取り巻く環境は大きく様変わりをしておりますし、検査技術もかつてないほどのスピードで進歩していますので、常に自己研鑽につとめなければなりません。

この所報は、保健環境研究所の開設の年にあたり、衛生試験所としての締めくくりの年となった平成8年度の業務の概要と調査研究の成果を取りまとめたものです。ご高覧いただき、新しくスタートした保健環境研究所により一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

平成9年9月

福岡市保健環境研究所

所 長 大 田 耿 三